

令和5年度 シラバス

教科	芸術	科目	水墨画入門	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	最新水墨画の描き方（誠文堂新光社）					
学習の目標	1 墨を用いて基礎的な表現活動を行い、日本古来の伝導芸術について学習する。 2 高齢の社会人と共にその技術を学びながら、互いに切磋琢磨する精神を身に付ける。					
評価の観点	1 関心・意欲・態度 伝統的水墨画に関心を寄せ、表現技術を身に付けようとする関心や意欲をもつ。 2 美術表現の創意工夫 基礎技術を身に付けながらも、さらに自分らしい新しい作風を作ろうとする意欲をもつ。 3 美術表現の技能 基礎表現を主体的に身に付け、安定した表現方法ができる。 4 鑑賞能力 自分の作品発表を通して、他の作品にいつそうの関心を深め、そのよさや美しさを味わうことができる。					
評価の方法	上記4つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、作品（提出状況・技術点・努力点等）から総合的に評価を行う。また、文化祭他の作品発表を通して、関心・意欲などの態度を評価すると共に、表現技術を評価する。					
	単元			主な学習内容		
前期	1 水墨画の由来と基礎技法の学習 2 基礎技法の研究と四君子の学習			・北画・南画に見る中国水墨画の紹介と、日本の水墨画の関係を学び、日本人が開拓してきた今日の水墨画を学習する。 ・四君子（蘭、竹、菊、梅）の描写技術を学習する。		
後期	1 作品制作及び鑑賞（モチーフ） 2 作品制作及び鑑賞（風景画） 3 作品制作及び鑑賞（風景画、人物画、生物画、生活画他）			・樹木、花、岩、水などを基本モチーフとして学習する。 ・手本に従って描写方法を学びとり、作品の中にみられる多くの技術を習得する。 ・習得技術をもとに、多くの作品制作に取り組むとともにその鑑賞力を養う。		